

高松市立牟礼南小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

人間性豊かで、主体的に生きるたくましい児童の育成

【本校の課題】

- ・多くの学年で新体力テストの全種目が全国平均を下回っている。
- ・どの学年でも、運動を積極的に行う児童とそうでない児童の2極化が見られる。
- ・休み時間の遊びが固定化しており、多様な遊びをしていない。

【現状】

休み時間は、外で遊ぶ児童が多いが、遊びの種類は学年によって偏りが見られる。低学年は、遊具遊びが多く、中学年・高学年はドッジボールやサッカーが中心となっている。その一方で、休み時間に教室などで過ごし、外に出ない児童も少なくない。

週に1度全校体育の時間を取って、短距離走・縄跳び・持久走を中心に運動を行っている。器械運動の専門の指導者を招へいすることにより、児童の意欲が高まってきている。

取り組み

全校体育

1学期は短距離走、2学期はリレーと縄跳び、3学期は持久走を行い、縄跳びと持久走では記録会を行う。

委員会から運動の提案

安全・運動委員会がいろいろな遊びや運動の企画を行う。

体育の授業の改善

教員の研修で、体育の実技研修(跳び箱・マット)や新しい教材の紹介などを行うとともに、アクティブラーニングの視点から、体育の授業改善を行う。

【目標】

- ・体力テストの結果において、全学年の全ての項目で、全国平均以上を目指す。
- ・全校体育や外遊びにより、体を動かす習慣がつくようにする。
- ・体育の授業において、目標を持ち、話し合い活動を経て振り返りを行う学習スタイルが身に付く。